

# まちの話題

Machi no Wadai

8/1に市民5が参加して  
行われた川下海岸での  
移植イベント



看板で海岸草原の  
復元を紹介



海岸草原の復元も目指して  
汗も流した皆さんと記念撮影!



暑かったけど  
みんなで一生懸命  
苗を植えました!

6/30に浜益中学校で  
行われたポット苗づくり



北海道大学 大学院農学研究院  
(左) 松島 肇 先生 (右) 植野 晴子 さん

グリーンインフラ



川下海岸

浜益で「海岸草原」の復元実験に取り組んでいます!

浜益区地域おこし協力隊  
西川海斗さん



プロフィール ■北海道伊達市出身。令和7年4月に協力隊として浜益に移住。デマンド交通などの仕事をしながら浜益の自然案内人を目指して目下勉強中。

こんにちは、西川です。皆さんは「グリーンインフラ」って聞いたことがありますか？自然が持つ機能を生活や災害の備えに生かす仕組みのことです。浜益では長年、海水浴場の砂が国道や住宅地にまで飛んでくる飛砂に悩まされてきました。

海岸の砂丘にはハマボウフウやコウボウムギ、ハマヒルガオ、テンキグサといった海岸植物と呼ばれる植物が生えています。浜益でグリーンインフラの研究を進める北海道大学の松島肇先生によると、浜浜植物は砂地でも水を十分に吸えるように根が発達しており、その葉や茎が砂の移動をくい止め、堆積させ、砂丘の形成を担うことで、これが自然の堤防となり、飛砂から私たちを守る役割もあります」と教えていただきました。

毎年、浜益小学校では海岸観察会を、浜益中学校では秋に浜浜植物の種を拾って、苗を育てるお手伝いをしており、その苗をこの夏、市民の方と一緒に浜に移植しました。

この取り組みが始まって今年で5年目。少しずつ砂丘が復元され、飛砂も少なくなりました。皆さんもぜひ川下海岸の海岸草原を見に来て下さい！

広告

広告